



コミュニケーション研修 リーダー向け

1

コミュニケーション研修の学習内容

- 職員一人一人が、大切な存在であることを考える
- 自分を大切にしている人のコミュニケーションを考える
- 理屈ではなく、心で感じるコミュニケーションの実践
- 『できない』から『どうすればできるか』への思考の変化
- 自分と他人が違うことを再認識する



学習内容	目的	進め方
●オリエンテーション	研修の目的を理解し積極的に参加する意識を高める。	
1. 言葉が与える影響力 ・無意識と意識的の違いがあなたを変える ・『できない』ではなく『どうすればできるのか』	無意識と意識の違いを知り、意識的に行動することで変化に結び付ける。自分自身の思考、行動の制限を取り除く。	【講義】
2. アサーションとは ・コミュニケーションを再確認する ・理屈ではなく体感したコミュニケーションを活かす	日常のコミュニケーションを振り返り、コツを再確認する。今まで理屈で理解していたことを、体感することで意識の変化を目指し、コミュニケーションを効果的に活用する。	【講義】 【演習】 【演習】
3. 表現を変える ・ネガティブワードを切り替える ・自分自身の見方を変える	日常で使うネガティブワードを意識的にポジティブに変化させ、自分の短所を表現一つで変えられることを体感する	【演習】個人+グループ 【演習】グループ
4. 自分自身が考えるアサーション ・明日からできることを考える ・出来た自分の変化をイメージする	簡単な明日からの行動を決定することで実践につなげる。成功イメージから素直な自分を理解し、抵抗を減らす	【講義】 【演習】ペア 【講義】
●まとめ	研修の振り返りと質疑応答	

2

コミュニケーション研修の特徴

- リーダーとしてのコミュニケーションを考える
- 職員の長所を活かす職場づくり
- 無意識での言動から意識化した言動への一歩が踏み出せる
- チームとしての『できる』方法を考える
- 研修中も笑顔があらわれる研修

3

コミュニケーション研修受講後の効果

- リーダーとしての無意識の言動の減少
- 職員の短所を長所と見る意識が芽生える
- リーダーの職員への接し方の変化が起こる
- 『どうすれば できるか』と問うリーダーが増える
- 今まで以上に笑顔があらわれる

標準時間・日数：3h・1日／講師：株式会社コンフォルト 【パートナー講師】丸本 敏久